



広い空 未来につなぐ えがおの南山幼稚園

港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子

6月園だより

令和7年5月27日

May 27, 2025

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai



「学びのつながり」を

園長 河合 晴美

例年よりも早く色づいたユスラウメの赤い実を見つけ、各学年の幼児が遊びに取り入れていきました。また、園庭で出合った「ヤモリ」「カメムシ」「クモ」「アゲハの幼虫」と日々いろいろな生き物を見つけ、それらを知らせる声で心が躍り、驚きや発見が広がっています。先日の幼稚園公開では、このような梅雨の前の楽しい日々をご覧いただきました。御参観いただきましてありがとうございました。

さて、港区では幼児教育と小学校教育の接続に関して力を入れ調査、研究を行なってきました。今年度は作成された「港区版 架け橋期のカリキュラム」を実践に活用しながら5歳児と小学校1年生の2年間の「学びのつながり」への理解を深めています。先日は保幼小合同研修会が開かれ、近隣の保育園の保育士と幼稚園・小学校の教員が南山幼稚園の5歳児さくら組の保育と南山小学校の1年生の授業「算数」を参観しました。参観後、「学びのつながり」を視点に教科の単元と幼児期の体験の関連、これらを活かした指導の工夫について協議し共通理解をしました。

さくら組の「ピンクと黄色の色返し」ゲームは、散りばめられた色のカードを合図とともにそれぞれが次々にめくるゲームです。自分のチームの色にするため裏返していくのですが、相手のチームがやってきて、また裏返しをしてしまいます。互いに自分のチームの色に裏返すエンドレスな楽しいゲームです。そして、結果はチームの色のカードの数が多いか、少ないかの判定になります。さくら組では、その方法をカードを投げながら数える（玉入れと同様のやり方）、カードを積んで高さで比べる、カードを並べ長さを見て知る等、考えた方法を実際に試していきながら数を確かめました。ただ単に数えるのではなく、「どうしたら分かるのだろう・・・」という疑問を投げかけ、これらの過程を丁寧に経験しました。そして、算数科につながる数や量への感覚を豊かにしています。1年生は、今までの経験を想起させたり、可視化したりすること、具体物を使って操作すること等、発達に応じた授業の工夫が見られました。

3歳児りんご組がユスラウメを「いっぱい!いっぱい!」と集める姿、4歳児ばら組が箱積み木を考えながら四角い形に片付けていく姿、5歳児さくら組がつくった色水をいろいろな容器に入れ替えていく中で量を調節していく姿など、遊びは、数や量、図形に親しむ環境の中で展開します。この小さな積み重ねが幼児たちを「学びのつながり」へと導いていくことを考え、きめ細やかに毎日を過ごしていけるように努めていきます。



<3歳児 みつけた!>



<4歳児 形を考えて>



<5歳児 色めくり>

